

安全上のご注意

ご使用前に取扱説明書と「**ご注意／詳しい使いかた編**」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

絵表示： 製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。内容をよく理解してから本文をお読みください。

	警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- 注意**
- 乾電池のプラス(+)とマイナス(-)の向きを表示通り正しく入れてください。間違えますと乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚染する原因となることがあります。
 - 指定以外の乾電池は使用しないでください。また、乾電池が複数の場合には、アルカリとマンガンなど種類の異なる乾電池や、新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となることがあります。

- 乾電池に表示されている注意事項もあわせてお読みください。

使用上のご注意

お使いになる前に以下のご注意をよくお読みになり、正しくお使いください。

ご注意: 本製品はいかなる状況下でも防水性能を保証する製品ではございません。ご使用になる前に、パッキン部分に傷や損傷が無いことを必ずご確認ください。下ケースが完全に閉まっていることを必ずご確認ください。パッキン部分にゴミやほこりなどが付着した状態や、直射日光などに長時間さらされたパッキンでのご使用、または下ケースの閉め忘れなどの誤った使用方法・環境下での使用による内部への浸水や、それに関わる本機の破損・故障・損傷・変形や収録データの損失などにつきましては、弊社は一切の責任を負いかねますことをあらかじめご了承ください。

<p>床など硬いところに落とすと壊れますので、次のことに注意してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 硬いものにぶつけたり、強く振ったりしない。 ・ 石けんなどの泡が付いた手で持たない。 ・ 滑りやすいところ、不安定なところに置かない。 	<p>本機のスピーカーと操作ボタン部分、ふたには強力な磁石を使っていますので、次の製品は本機のそばに置かないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ テレビ ・ 時計 ・ クレジットカードなどの磁気カード ・ カセットテープ ・ ビデオテープ
<p>浸水の原因となりますので、次のことに注意してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本機の破損、パッキンの傷やひび割れ、ゆるみがないか、ご使用前に必ず確認してください。これらの症状を確認した場合は、直ちにご使用を中止してください。 ・ パッキン等にゴミがついていないことを確認してください。 ・ 本機が確実に閉まっているか確認してください。また、パッキンを取り付けるときに、ゆがまないよう注意してください。 ・ パッキンが下ケースとすきまなく取り付けられていることを確認してください。(詳しくは「取扱説明書」の「汚れたときのお手入れ」をご覧ください。) 	<p>破損の原因となりますので、次のことに注意してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 万が一浸水した場合は壊れてしまいます。そのとき本機の内部が発熱する場合がありますので、本機の熱が冷めるまで触らないでください。本機の熱が下がりましたら乾電池を取り出してください。 ・ ボタンを操作するときは、爪を立てないでください。 ・ 温度差のある部屋を移動するなど、本機に急激な温度変化を与えた場合は、移動先ですぐにケースを開けず移動先の部屋で1時間以上放置し、部屋の温度に十分なじんでからケースを開けてください。 ・ すぐにケースを開けると、本機内部が結露し、動作不良を起こす場合があります。 ・ 外側が汚れているときは、中性洗剤などで拭き取ってください。 ・ シンナーやベンジンなどを絶対に使わないでください。
<p>乾電池を使うときは、次のことに注意してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 長期間使用しないときは、乾電池を本機からはずして保管する。 ・ 乾電池を加熱したり、分解したり、ショートしたり、火の中に投入しない。 ・ 乾電池を充電しない。 ・ 乾電池が液漏れを起こしたときは、電池ケースのふたについた液をよく拭き取ってから、新しい乾電池を入れる。また、万一漏れた液が身体についたときは、水でよく洗い流す。 	<p>次の状態では使用しないでください。また、次のことを行なわないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ お風呂のお湯に温泉の成分が入っているとき。 ・ 入浴剤を入れたとき。 ・ お風呂の温度が43℃以上のとき。 ・ お湯を直接本機にかけつづける。 ・ 浴槽に入れたままお風呂を追いだきます。 <p>誤った使用(浸水、落下、高温放置など)により、本機が破損した場合、保証・責任を負いかねますので、ご了承ください。</p>



この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

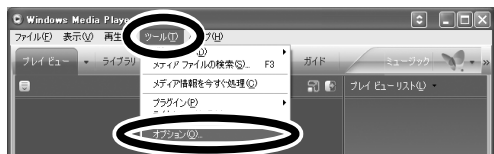
CDから音楽データをパソコンに取り込む

Windows Media Playerを起動してから音楽データを取り込む場合

ここではWindows Media Player 10(以下WMP 10)を説明します。他のバージョン(WMP 9、WMP 11)については、各手順で操作の違いを記載しています。

1 WMP 10を起動する

2 メニューバーの「ツール(T)」→「オプション(O)」をクリックする



「オプション」ダイアログが表示されます。

3 「オプション」ダイアログの「音楽の取り込み」タブをクリックし、お好みの設定をする

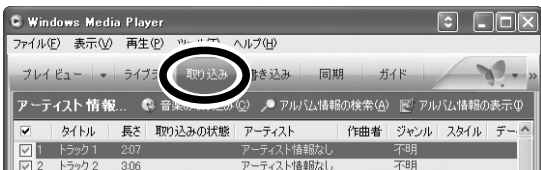
ファイル形式: 「Windows Media オーディオ」、[mp3]を選んでください。
 保護: CDから取り込む音楽データを保護するときは、「取り込んだ音楽を保護する(P)」にチェックを入れてください。
 音質: 128kbps以上を推奨します。

それぞれの設定の詳細については、「音楽の取り込み」タブ右下の「ヘルプ」ボタンをクリックして、Windows Media Playerのヘルプをご覧ください。

4 設定が終わったら「OK」をクリックする

「オプション」ダイアログが閉じて、手順3で行なった設定が有効になります。

5 「取り込み」タブをクリックする



- ・ WMP 9: 「音楽の録音」をクリックします。

6 CDをパソコンに挿入する

CDのトラックリストが表示されます。

パソコンがインターネットに接続されているときは、自動的に曲名などの情報が表示されます。表示されないときは、「アルバム情報の検索(A)」をクリックするとインターネットでCDの情報を検索することができます。

- ・ WMP 11: トラックのどれかを右クリックすると「アルバム情報の検索(A)」が選べます。

7 取り込まない曲のチェックマーク☑を外し、「音楽の取り込み(C)」をクリックする

- ・ WMP 9: 「音楽の録音」をクリックします。
 - ・ WMP 11: 「取り込みの開始(S)」をクリックします。
- チェックマークがついている曲の取り込みが始まります。取り込みたい曲がすべて「ライブラリに取り込み済み」と表示されたら、取り込みは完了です。

パソコンの音楽ファイルをドラッグ & ドロップで本機に転送する

あらかじめ付属のUSBケーブルでパソコンと本機を接続します。

1 「マイコンピュータ」→「JVC_XA_A」を選んでダブルクリックする

- ・ Windows® 2000/Meでは「リムーバブルドライブ」を選んでダブルクリックします。リムーバブルドライブが複数あるときは、アイコンを右クリックして「プロパティ」を選びます。「JVC_XA_A」と表示されている方のアイコンを選びます。



2 「MUSIC」フォルダに再生したい順に、1曲ずつ音楽ファイルをドラッグ&ドロップして音楽ファイルをコピーする

WMA-DRM1は、ドラッグ&ドロップでは再生できません。

本機に記録したものを「私的な目的」以外で、著作権者および他の権利者の承諾を得ずに複製、配布、配信することは、著作権法および国際条約の規定により禁止されています。

- ・ 音楽ファイルを複数同時にドラッグ&ドロップして転送することもできます。そのとき、曲順が変わることがあります。

3 転送が終了したら、タスクバーの「安全な取り外し」をクリックして「ハードウェアの安全な取り外し」を行い、USBケーブルを抜く

こんなときは…

- * 本機にパソコン、またはWindows Media Playerからファイル転送などの操作ができない。
 - ・ パソコンが不適切な動作をしています。パソコンを再起動して、本機をもう一度接続してください。
 - ・ 本機とパソコンの間にUSBハブやUSB拡張ケーブルがつながれています。本機とパソコンは、付属のUSBケーブルで直接接続してください。
 - ・ 本機のボリュームラベルが「JVC_XA_A」以外になっています。本機のボリュームラベルを「JVC_XA_A」と入れ直してください。
- * 操作できなくなった。
 - ・ お風呂場の外や、水気のないところで、乾電池を取り出し、もう一度入れてください。
- * 転送したファイルが見つからない。
 - ・ 転送中にエラーが起こりました。本機とパソコンを接続し直して、もう一度転送してください。
 - ・ 残りメモリー容量が少ないため、転送ができませんでした。不要なファイルを削除してください。
- * 本機内のファイルが削除できない。
 - ・ ご使用のパソコンの常駐ソフトウェアや音楽アプリケーションを一時停止させるか、終了させてください。
- * 再生できないファイルがある。
 - ・ 対応していない音楽ファイルの本機に転送していませんか。対応している音楽ファイルを転送してください。
 - ・ WMA-DRMファイルや、ドロップ&ドロップで本機に転送していませんか。WMA-DRMファイルはWindows Media Playerを使って転送してください。
 - ・ 4階層以上、下のフォルダに音楽ファイルを入れていませんか？ 3階層までのフォルダに音楽ファイルを入れてください。
- * イルミネーションが点灯しない。(音楽は再生している)
 - ・ 電池残量が少なくなっています。お早めに乾電池を取り換えてください。

本機から音楽ファイルを削除する

裏面の「パソコンから本機に音楽を転送する(Windows Media Player 9、10)」の手順6で、本機に入っている音楽ファイルのリストが「デバイスリスト」の下に表示されます。



デバイスリスト

削除したい曲を選択して、「」をクリックします。

選んだ曲が削除されます。

- ・ 本機にプリインストールされている音楽ファイル(3曲)は、削除すると元に戻せません。保存したいときは、音楽ファイルをパソコンのお好みの場所にドラッグ&ドロップして保存してください。
- ・ 本機の「MUSIC」フォルダを開いて表示される音楽ファイルを選び、削除することもできます。

パソコンの動作環境

対応OS

Windows Media Player 9, 10
Microsoft® Windows® XP*(Home Edition/
Professional)、Windows® 2000*、Windows® Me*

Windows Media Player 11**

Microsoft® Windows® Vista*
Windows® XP*(Home Edition/Professional)

* プリインストールモデルのみ動作保証

** Windows Media Player 11はベータ版での動作をもとに記載していますので、製品版と一部動作が違う場合があります。

ポート USB ポート

再生できる音楽ファイル

MP3 (32kbps ~ 192kbps, 16kHz, 22.05kHz, 32kHz, 44.1kHz, 48kHz) [MP3][.mp3]
WMA, WMA-DRM (32kbps ~ 192kbps, 16kHz, 22.05kHz, 32kHz, 44.1kHz, 48kHz) [WMA][.wma]
Windows Mediaオーディオ可逆圧縮には対応していません。

WMA-DRMについて

本機はWMA-DRMの再生に対応しています。
WMA-DRMは著作権保護されているWMAファイルで、Windows Media Playerで「著作権を保護する」にチェックを入れて作成したWMAファイルや、音楽配信サイトからダウンロードして購入したWMAファイルなどがこれにあたります。
WMA-DRMファイルを再生できるのは、そのファイルを作成したり購入したりしたパソコン上のみで、本機などのポータブルプレーヤーへの転送には制約があります。
インターネットからダウンロードして購入したWMA-DRMファイルにはポータブル機器への転送回数が制限されているものがあります。これらのファイルを転送回数分本機や、他のポータブル機器へ転送すると、本機へ転送できなくなります。

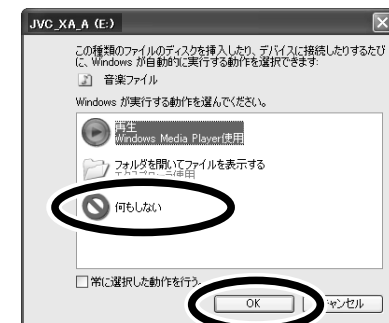
- Microsoft、Windows およびWindows Media は米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

パソコンから本機に音楽を転送する (Windows Media Player 9、10)

ここではWindows Media Player(以下WMP) 10を説明します。WMP 9については、各手順で操作の違いを記載しています。

1 付属のUSBケーブルで、パソコンと接続する

本機のLEDランプが点滅します。
しばらくすると接続が完了します。



Windows® XPでWindows Media Playerを使用した場合

「何もしない」を選んで「OK」をクリックする

- 表示が出ないときは、次の手順へ進みます。

2 WMPを起動する

はじめて接続したときは「デバイスの設定」ダイアログが表示されます。
「手動(M)」を選び、「完了(F)」をクリックする

3 転送先を「MUSIC」フォルダに設定する (WMP 9は手順4に進みます。)

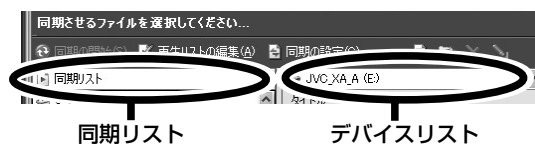
メニューバーから「ツール」→「オプション」→「デバイス」タブをクリックし、表示されているデバイスから「XA_A series」を選択し、「プロパティ」をクリックする
「同期」タブ内の「同期の設定(C)」の「デバイスにフォルダ階層を作成する」をチェックして「OK」をクリックする

4 WMPの「同期」タブをクリックする

- WMP 9: 「デバイスへ転送」をクリックする

5 「同期リスト」の☑をクリックして、転送したいリストを選ぶ

- WMP 9: 「転送する項目」の☑をクリックする
転送しない曲があるときは、チェックマークをクリックして消します。



パソコンから本機に音楽を転送する (Windows Media Player 11)

1 付属のUSBケーブルで、パソコンと接続する

本機のLEDランプが点滅します。
しばらくすると接続が完了します。



Windows® XPでWindows Media Playerを使用した場合

「何もしない」を選んで「OK」をクリックする

- 表示が出ないときは、次の手順へ進みます。

2 WMP 11を起動する

はじめて接続したときは「デバイスの設定」ダイアログが表示されます。
「いいえ、ファイルの追加中コンピュータの検索は後で行います」を選び、「次へ」をクリックする
次の画面で「完了」をクリックする

3 転送先を「MUSIC」フォルダに設定する

「同期」タブの▼をクリックして、「XA_A Series」→「詳細オプション」を選ぶ
「同期の設定」の「デバイスにフォルダ階層を作成する」をチェックして「OK」をクリックする

4 WMP 11の「同期」タブをクリックする

5 左のダイアログから曲やアルバム、再生リストを選び、下図の丸囲み部分にドラッグ&ドロップする

- 「MUSIC」フォルダ内に、フォルダを作成して曲を再生できます。
フォルダは3階層まで作れます。



6 「デバイスリスト」をクリックして、本機(JVC_XA_A)を選ぶ

- WMP 9: 「デバイス上の項目」で「JVC_XA_A」を選び、「MUSIC」フォルダをクリックする
本機がデバイスリストに表示されないときは、メニューバーから「表示(V)」→「最新の情報に更新(R)」をクリックします。

7 「同期の開始(S)」をクリックする

- WMP 9: 「転送(C)」をクリックする

転送が始まります。

転送中は本機のLEDランプが点滅します。

8 転送が終了したら、タスクバーの「ハードウェアの安全な取り外し」を行い、USBケーブルを抜く